

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.6.30 時点)

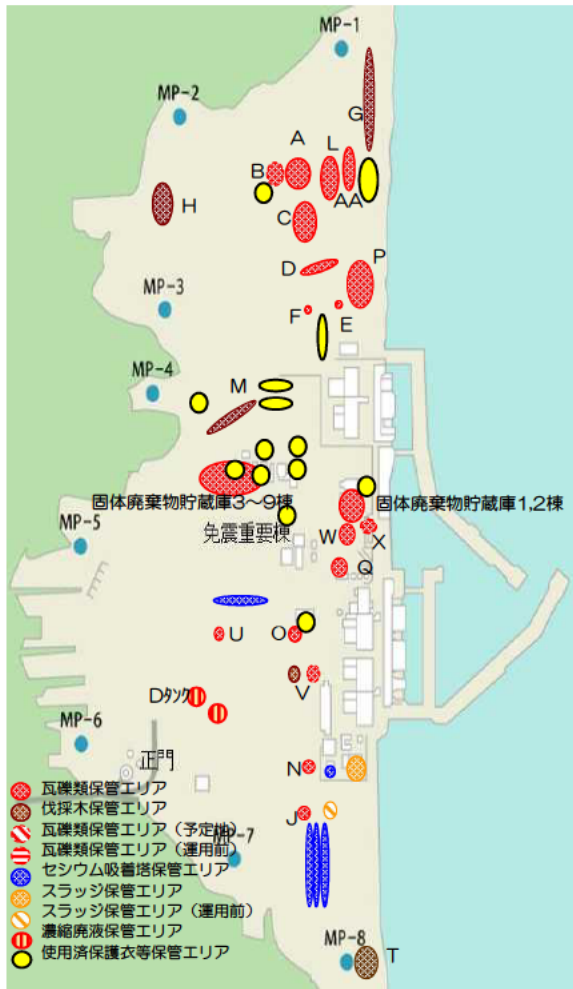
分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比※1 (2018.6.28)	変動※2 理由	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800	m ³ 0	m ³ —	85 %	176000 / 250700 (70%)	・フランジタンク解体片 2018年6月末時点でコンテナ763基保管。 エリアP1 コンテナ数：633基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：130基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	59,500	m ³ -1,500	m ³ ①②	94 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³ 0	m ³ —	85 %		
		J	屋外集積	0.01	4,300	m ³ 0	m ³ —	53 %		
		N	屋外集積	0.01未満	4,500	m ³ 0	m ³ —	45 %		
		O	屋外集積	0.01未満	42,800	m ³ +500	m ³ ③④	83 %		
		P1	屋外集積	0.01	49,100	m ³ -400	m ³ ③⑤	77 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³ 0	m ³ —	100 %		
		V	屋外集積	0.01	1,600	m ³ 0	m ³ —	27 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	4,300	m ³ 0	m ³ —	12 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³ 0	m ³ —	58 %	37600 / 71000 (53%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.03	13,700	m ³ +100	m ³ ⑥	86 %		
		P2	シート養生	0.01	5,500	m ³ 0	m ³ —	61 %		
		W	シート養生	0.04	7,900	m ³ +400	m ³ ③⑦	27 %		
		X	シート養生	0.01	7,900	m ³ 0	m ³ —	65 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	14,800	m ³ +2,300	m ³ ⑧	92 %	20200 / 31700 (64%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.25	2,500	m ³ -3,900	m ³ ⑨	35 %		
		E2	容器※4	0.02	300	m ³ 0	m ³ —	19 %		
		F1	容器	0.01未満	600	m ³ 0	m ³ —	99 %		
		Q	容器	0.04	2,000	m ³ 0	m ³ —	32 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器※4	0.01	9,200	m ³ +200	m ³ ⑦	20%	9200 / 45600 (20%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
合計（ガレキ）				243,000	m ³ -2,300	m ³ —	61 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200	m ³ 0	m ³ —	63 %	96600 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³ 0	m ³ —	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³ 0	m ³ —	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100	m ³ 微増	m ³ —	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³ 0	m ³ —	88 %	37300 / 41600 (90%)	
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³ 0	m ³ —	94 %		
合計（伐採木）				133,900	m ³ 0	m ³ —	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	54,000	m ³ +600	m ³ ⑩	76 %	54000 / 71200 (76%)	・使用済保護衣等焼却量 4360t（2018年6月末累積） ・焼却灰のドラム缶数 960本（2018年6月末累積）	
合計（使用済保護衣等）				54,000	m ³ +600	m ³ —	76 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
※2 主な変動理由：①砕石取り出しによる減 ②シート養生作業による減 ③タンク関連工事 ④構内瓦礫保管 ⑤瓦礫を一時保管エリアCに移動
⑥可燃物の受入 ⑦1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑧瓦礫保管デントAからの移動 ⑨覆土式一時保管槽(第4槽)への移動 ⑩使用済み保護衣等の受入

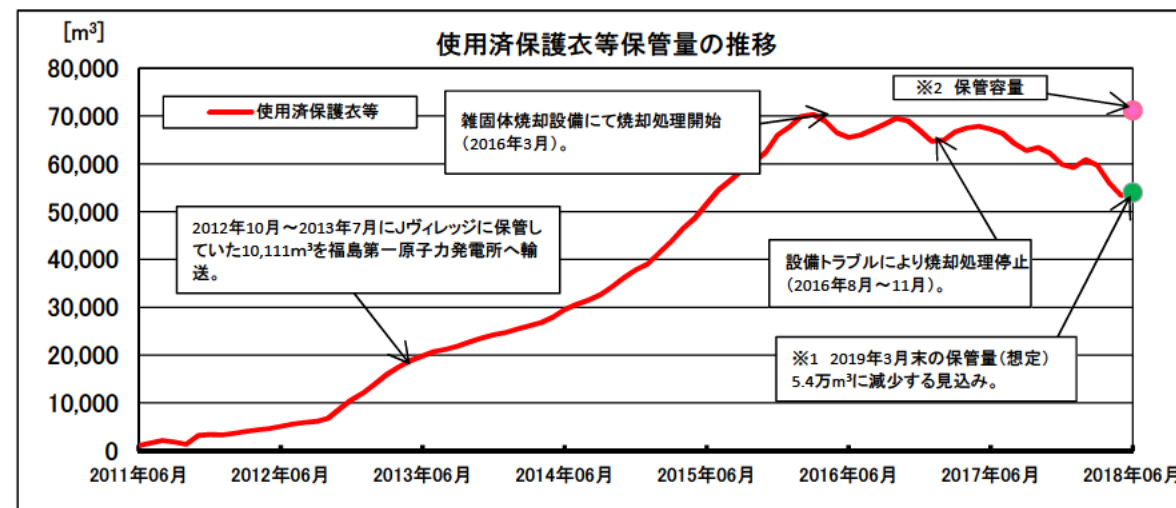
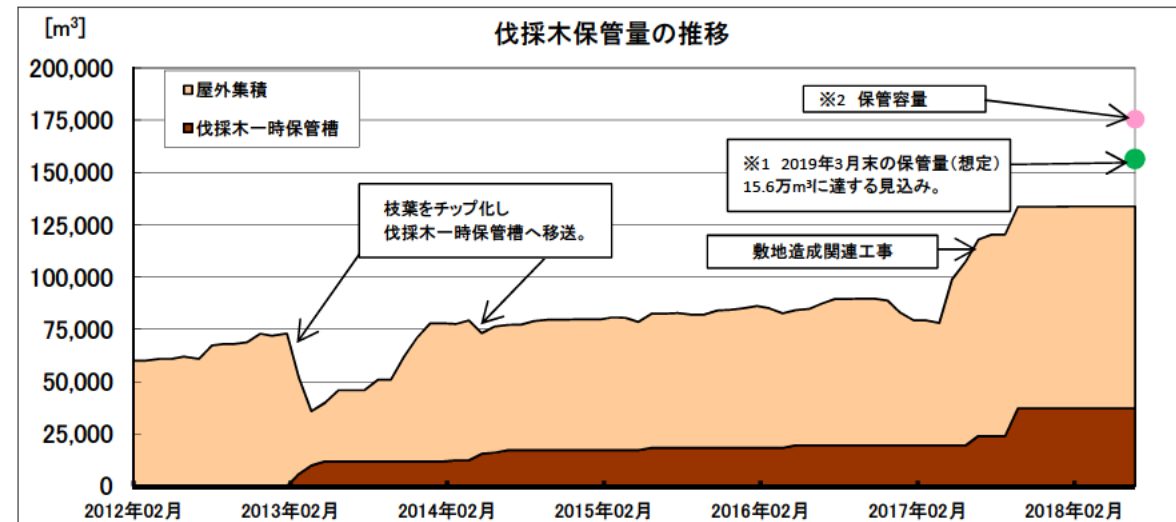
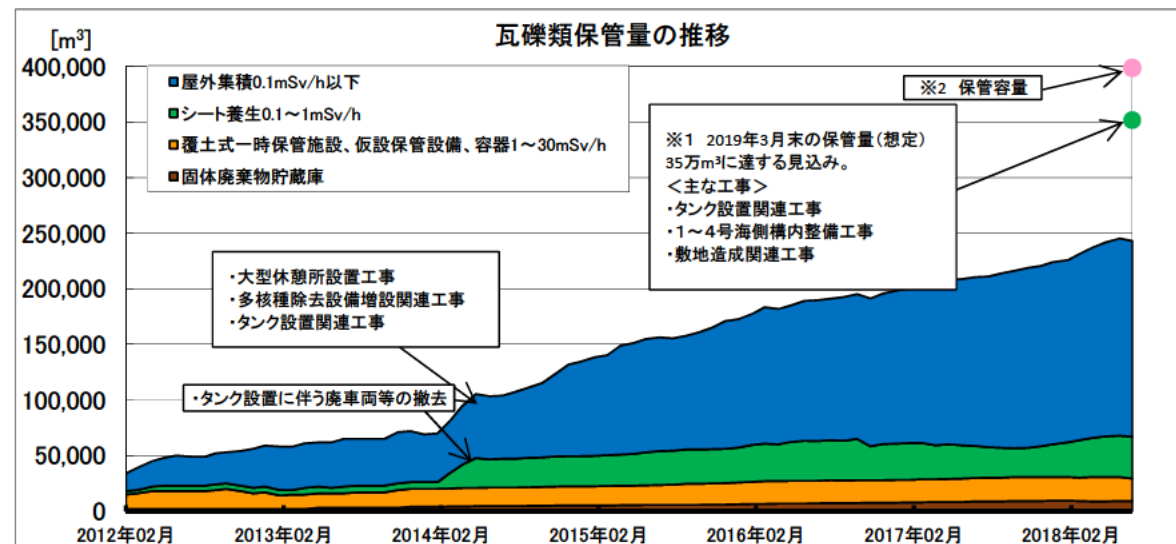
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.7.5時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.6.28)	保管量／保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	767 本	0 本	4031 / 6368 (63%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	204 本	+2 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,487 基		
			増設	1,287 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	201 本	+1 本		
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,387 m ³	+11 m ³	9387 / 10700 (88%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9287 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.6.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.7.5時点)

